

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 (この取扱説明書は必ず保管してください。)

安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

	危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損傷だけの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■設置時の注意

注意

- ・搭載可能質量は 1,350kg です。搭載可能質量を超過しますと、転倒・変形の原因となります。
- ・耐震対策のために M16 以外のアンカーボルトで固定しないでください。転倒・変形の恐れがあります。

■使用上の注意

注意

- ・組付けに際してボルトをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと落下・転倒の原因となります。

ねじの呼び	適正締付トルク値
8	7.84~10.78N・m(80~110kgf・cm)
10	19.6~29.4N・m(200~300kgf・cm)
16	49.98~59.78N・m(510~610kgf・cm)
22 (ハードロックナット)	150~250N・m(1529~2551kgf・cm)

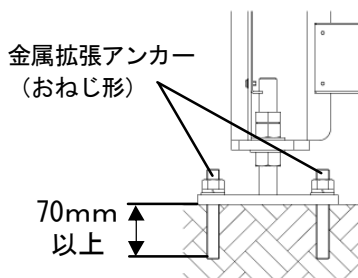
- ・次のような場所では使用しないでください。故障の原因となります。
 - ・高温、高湿となる場所・腐食性ガスのある場所・可燃性ガスのある場所・塵埃やオイルミストが多い場所
 - ・振動、衝撃のある場所・ノイズ、電界、磁界の強い場所・水滴のかかる場所

■施工上の注意(アンカー固定)

注意

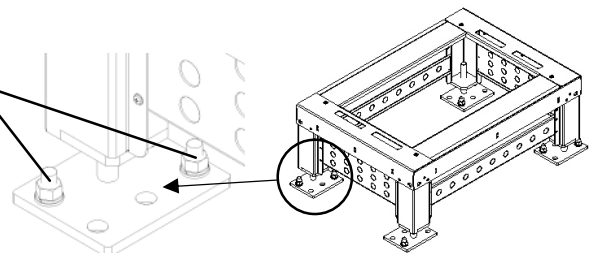
- ・アジャスタのアンカーボルト取付用穴 φ22 を使用し、M16 アンカーボルトにて床面に固定してください。
- ・アジャスタ 1 個あたり対角に 2ヶ所 アンカー固定してください。<下図>

<あと施工アンカー施工例>



金属拡張アンカー
(おねじ形)

	最小埋め込み深さ
ボルト径 M16	70mm

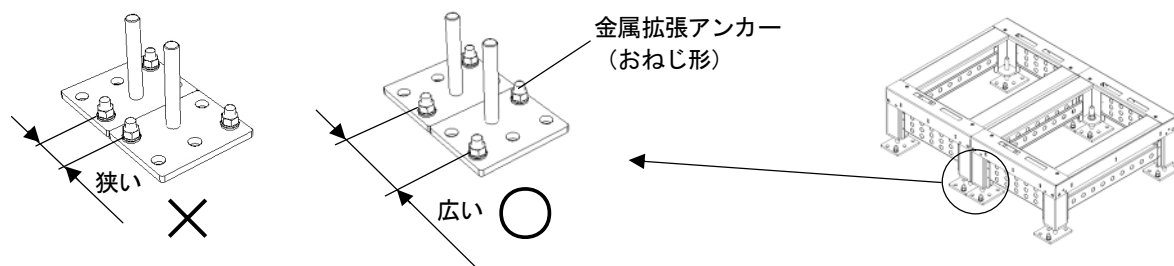


- ・ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。設置に不備があるとドアの開閉及び機器搭載などに支障をきたすことがあります。

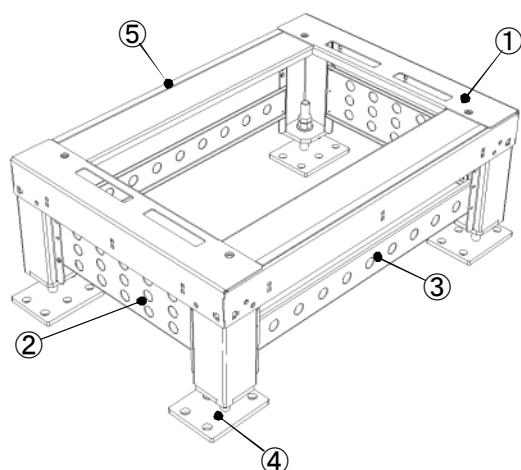
■施工上の注意(アンカー固定 連結設置)

⚠ 注意

・連結設置の際、アンカーピッチが狭いと十分なアンカー強度が得られず転倒、変形の恐れがありますので、図のようにアンカーピッチを広く取れるよう固定してください。





■仕様



部品名	材質	板厚	数量
① 基台本体	鉄	3.2mm	1
	鉄	12.0mm	
② 配線バーヨコ	鉄	2.3mm	2※
③ 配線バーフカサ	鉄	2.3mm	2※
④ アジャスタ(H150)	鉄	12.0mm	4
⑤ ゴムスペーサ	ゴム	3.0mm	2

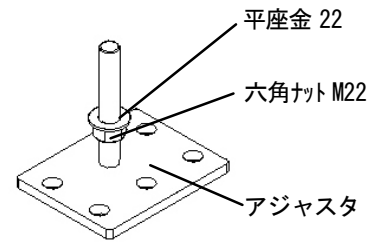
※ RDK□-□3AHA (高さ 300mm) の場合、
②、③の配線バーはありません。

■付属品

名称	数量	備考
フリーアクセスフロア基台AH用(RDK) 取扱説明書(本紙)	1	
アジャスタ(H150)	4	
ゴムスペーサ	2	
ハードロックナットセット M22	4 (セット)	アジャスタ取付用
平座金 22	8	アジャスタ取付用
六角ナット M22	4	アジャスタ取付用
六角ボルト M16-60	4	ラック接続用
ばね座金 16	4	ラック接続用
平座金 16	4	ラック接続用
六角ボルト M10-40	2	基台連結用
ばね座金 10	2	基台連結用
平座金 10	4	基台連結用
六角ナット M10	2	基台連結用

■アジャスタ組付方法

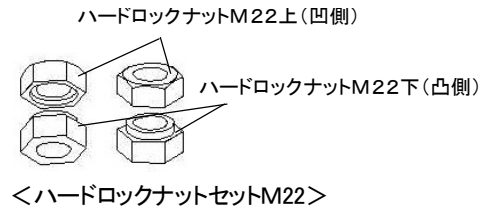
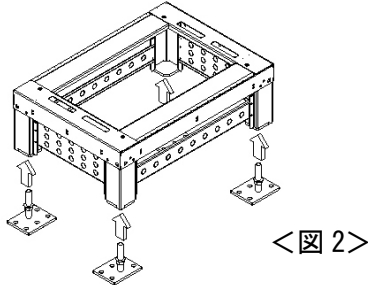
- (1)アジャスタに六角ナットM22、平座金22 各4個を取付けてください。
 その際、基台が必要な高さになるように位置決めをしてください。〈図1〉



〈図1〉


- (2)基台の脚部4ヶ所に(1)のアジャスタを差込み〈図2〉、
 平座金22、ハードロックナットM22下で仮止めます。〈図3、4〉
 (ご注意)

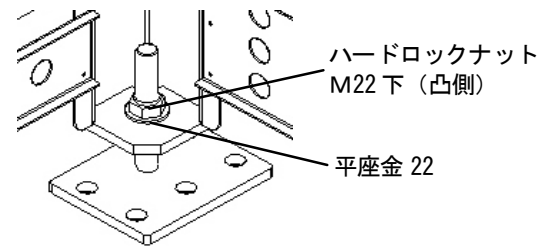
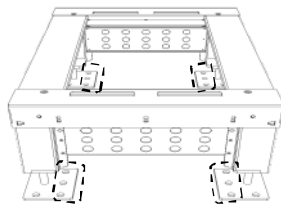
・ハードロックナットM22には上下がありますのでご注意ください。



〈図3〉

⚠ 注意

- ・アジャスタの取付には向きがありますのでご注意ください。
- ・穴が3つある方が内向きになります。( 部)

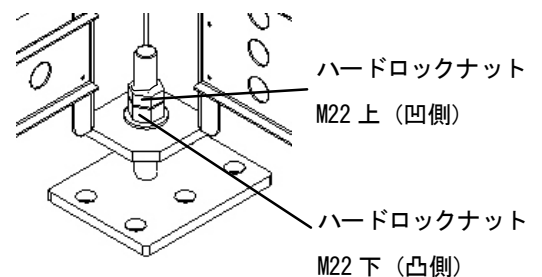


〈図4〉

- (3)基台の高さ調整、水平出しを行ってください。
- (4)アンカー施工後にハードロックナットM22下、ハードロックナットM22上の順で確実に締付けてください。〈図5〉

⚠ 注意

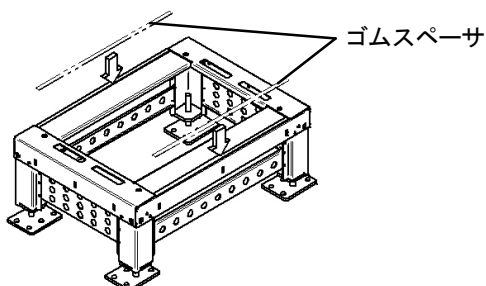
- ・組付けに際してボルトをしっかり締付けてください。
 - 締付けが不十分ですと落下・転倒の原因となります。
- M22 適正締付トルク: 150~250N・m(1529~2551kgf・cm)**



〈図5〉

■ゴムスペーサの貼付方法

- (1)付属のゴムスペーサを基台上面両端の段差部に貼付けしてください。



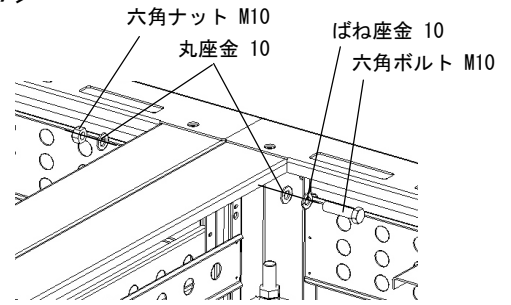
■ 連結方法

(1) 基台を並べて設置し、基台側面のφ12を利用して六角ボルト M10、六角ナット M10、ばね座金 10 各 2個、平座金 10 4個にて固定してください。<図6, 7>

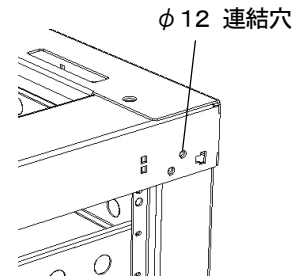
⚠ 注意

- ・組付けに際してボルトをしっかり締付けてください。
- ・締付けが不十分ですと落下・転倒の原因となります。

M10 適正締付トルク: 19.6~29.4N・m (200~300kgf・cm)



<図6>



<図7>

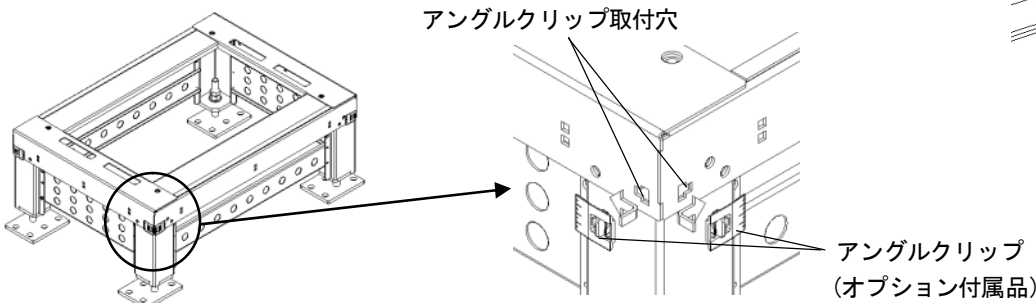
(ご注意)

- ・多連結設置の際、設置の状況や基台の固体差により設置合計寸法に差が生じる可能性があります。
- ・必要に応じ、基台の設置合計寸法を確認・調整し、ラック本体を設置してください。

■ オプションの取付方法

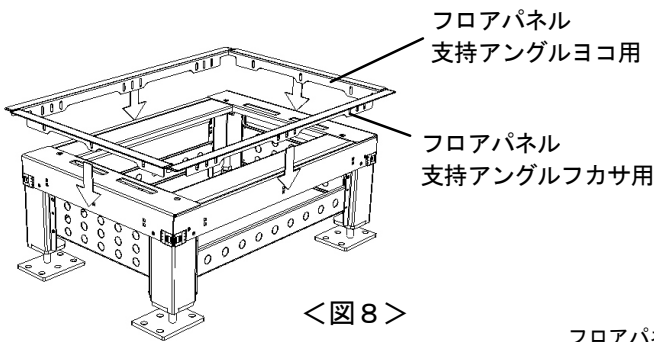
フロアパネル支持アングル(RDK1-□)

(1) アングルクリップを基台のアングルクリップ取付穴に取付けてください。

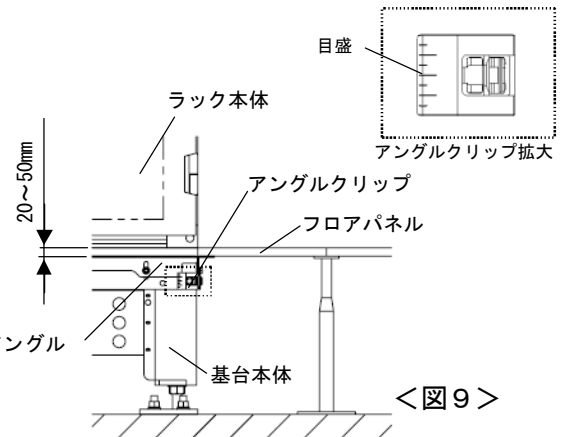


(2) フロアパネル支持アングルをアングルクリップの間に差込んでください<図8>。

フロアパネル支持アングルをフロアパネルの厚さに合わせ位置調整を行ってください。アングルクリップに目盛がついていますので参考にしてください。<図9>

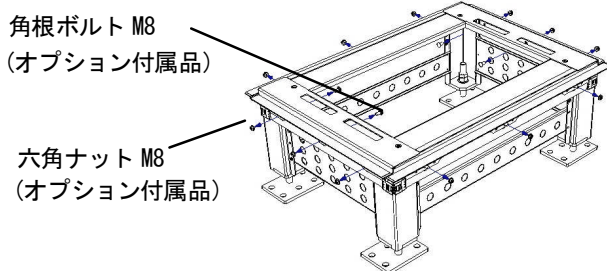


<図8>



<図9>

(3) 付属の角根ボルトM8、六角ナットM8にて固定してください。



■ 付属品(オプション フロアパネル支持アングル)

名称	数量
アングルクリップ	4
角根ボルト M8	6
六角ナット M8	6

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2010年10月現在のものです。